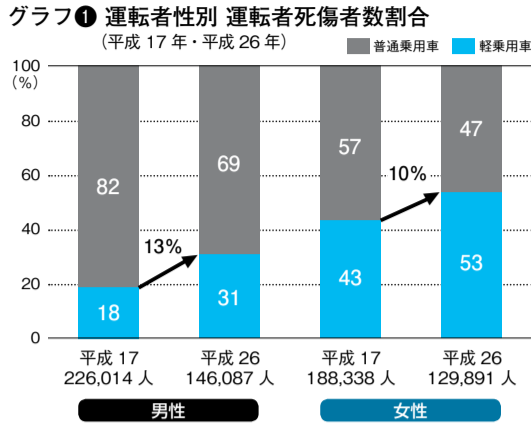


# FRONT LINE

## 女性が運転する軽乗用車の後席同乗者のシートベルト着用状況を調査

近年、低燃費、維持費の安さなどを背景に、軽乗用車のシェアが拡大してきた。それに伴い、軽乗用車の運転者死傷者数割合も増えている。特に女性が運転する軽乗用車に係わる死傷者数は、普通乗用車とほぼ同等になるまで増加した(グラフ①)。



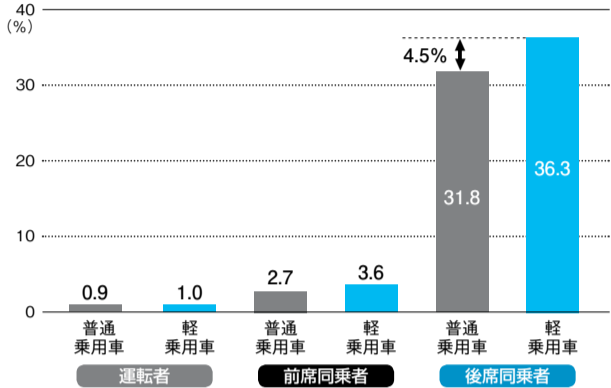
(公財)交通事故総合分析センター 研究部研究員の青木弘さんは「女性が運転する軽乗用車という分野は、現在の交通社会の中で注目すべき対象です」と話す。

そして、女性が運転する軽乗用車の事故の特徴を同乗者の状況、通行目的に着目し、調査分析したところ、後席同乗者のシートベルト非着用割合が普通乗用車よりも高いことがわかった。

### 後席の非着用割合は普通乗用車よりも軽乗用車のほうが高い

普通乗用車・軽乗用車の交通事故(平成21~26年)において死亡および負傷した運転者(女性)、前席同

グラフ② 乗車位置別 シートベルト非着用割合\*



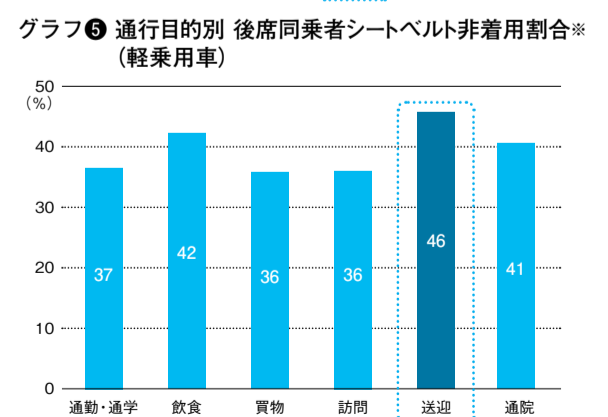
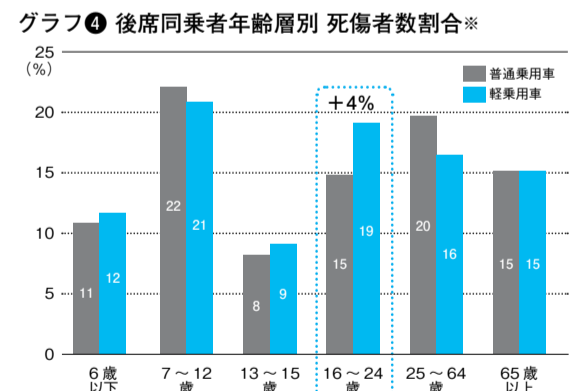
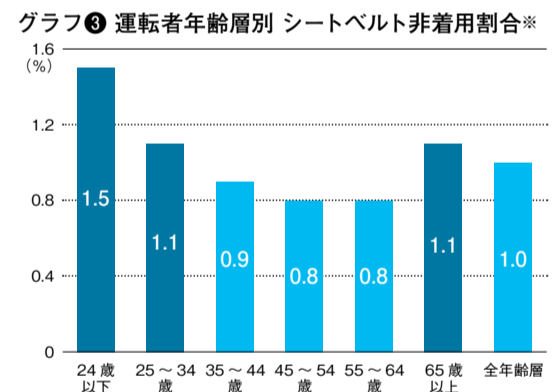
乗者、後席同乗者のシートベルト非着用割合を比較すると、運転者および前席同乗者のシートベルトを着用していない割合はほぼ同等だが、後席同乗者では軽乗用車のほうが4.5%高いことがわかった(グラフ②)。

運転者のシートベルトの非着用割合を年齢層別にみると、34歳以下と65歳以上では他の年齢層よりもシートベルトをしない傾向がみられた(グラフ③)。また、免許取得経過年数が5年未満の運転者の非着用割合は、10年以上の運転者の1.6倍と



(公財)交通事故総合分析センター 研究部 研究員

青木弘さん



\*グラフ②~⑤は平成21~26年の交通事故統計データにおいて、女性が運転する車両(普通乗用車および軽乗用車の第1当事者・第2当事者)で、シートベルトを着用していない(チャイルドシート不使用を含む)後席同乗者の死傷者を対象(グラフ②は運転者、前席同乗者も対象)としている。

いほどシートベルトをしない傾向がある。

青木さんはシートベルト非着用後席同乗者全体に対して、各年齢層がどれだけの割合を占めているかに注目した。普通乗用車、軽乗用車を区別なくみると、7歳から12歳が最も後席に同乗者する割合が高い。次に、普通乗用車と軽乗用車を区別してみると、15歳以下、65歳以上では、普通乗用車と軽乗用車に違いはないが、16歳~24歳においては、軽乗用車のほうが高くなっていることがわかる(グラフ④)。

「この年齢層は15歳以下の年齢層とは異なり、最低限の交通ルール、交通マナーなどを十分に理解している年齢層ですが、シートベルト着用に対する意識、着用の習慣は不十分である年齢層でもあります。つまり、後席同乗者に占める16~24歳以下の年齢層の人数割合が軽乗用車の方が高いため、軽乗用車の後席同乗者全体のシートベルト非着用割合が普通乗用車よりも高くなっていると考えられます」。

後席に同乗した死傷者の中で、シートベルトを着用していなかった運転者の通行目的の割合は買物、送迎、訪問で約76%を占めており、後席に同乗させる時は短い距離、短い時間で利用することがわかる。

次に、短い距離、短い時間の通行目的ごとに後席同乗者のシートベルト非着用割合をみると、「送迎」が後席同乗者がシートベルトを最も着用しない通行目的となっている(グラフ⑤)。これが軽乗用車の後席同乗者がシートベルトを着用しない割合を高くしている要因と考えられる。

さらに、普通乗用車、軽乗用車を、送迎目的で利用する割合を運転者の年齢層別にみると、軽乗用車の方が全年齢層で高く、特に45歳以上でその差が大きくなっていた。

短い距離の移動でもシートベルトの着用を

以上のように、女性が運転する車両の事故においては、普通乗用車と比べて軽乗用車のほうが後席同乗者のシートベルト非着用割合が高く、運転者、同乗者ともに若年層の占める割合が高いことがわかる。一方、通行目的では、短い距離、短い時間の送迎目的で利用する機会が軽乗用車のほうが多く、これが軽乗用車の後席同乗者のシートベルト非着用割合を押し上げている一因だと、青木さんは考察する。

「若年層のシートベルト着用への意識が低く、そのため同乗者にシートベルトを着用させるという意識も低くなっているのではないかと考えています」と、若年層にシートベルト着用的重要性を正しく理解してもらおうための啓発が必要ではないかと、青木さんはいう。

「一般道路では罰則がないから、後席シートベルトを着用しなくてもいい」という間違った考えを持たれている方がまだ多いように感じています。軽乗用車の場合、近距離での利用となるケースが多いと思いますので、事故に遭うことをイメージしにくいでしょう。しかし、5分、10分の移動でも事故に巻き込まれてしまう可能性はあります。そうした時に、被害を最小限にするためにも、すべての席の同乗者にシートベルトを締めてもらうことは運転者の責任です」。